

ぴっぷ議会だより



9/28 比布中央学校 1・2年生



ゴールの先に見えた景色は最高でした！



9/29 比布中央学校 3・4年生



まだまだ余裕です！

9/22 比布中央学校後期課程



9/16 くるみ保育園



9/30 比布中央学校 5・6年生



マラソンを楽しんだ秋

9月、くるみ保育園と比布中央学校で行われたマラソン行事。子どもたちは体力に合わせ500mから5kmまでの距離を走り切りました。

- 2 審議結果「第3回定例会」ほか
- 4 一般質問
- 4 大熊 勝幸 議員 ピピカツ事業の展望について
- 5 植西 浩一 議員 成功事例を活用した産業活性化について
冬の行政区単位の環境整備活動について
- 6 遠藤ハル子議員 行政デジタル化により個人情報はどこまで守られるのか
- 7 安藤 裕子 議員 放課後児童クラブの現状と今後の方針について
- 8 令和3年度各会計決算審議
- 15 【速報】住民のみなさんとの意見交換会「議会と話そう」を開催します！

住民と議員
意見交換会を開催します

議会と話そう

15ページを要チェック

9月5日～7日 第3回定例会



令和3年度各会計決算認定 令和4年度一般会計補正予算など議案6件を審議

9月5日～7日に開かれた令和4年第3回定例会では町の課題等に対し、4議員が一般質問をしました。また、令和3年度比布町歳入歳出決算認定をはじめ、議案7件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4～7ページに掲載しています。

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告し、財政の健全性を示すものです。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標がありますが、本町の財政はいずれも基準値内で「健全である」との報告がありました。

認定

◆令和3年度比布町歳入歳出決算認定

今井明信委員長ほか5人で構成する決算特別委員会に付託され、審議の結果、認定されました。(決算特別委員会での質疑等は8～11ページに掲載しています。)

人事

◆教育委員会委員の任命
任期満了に伴い、加地道喜氏(再任)の任命に同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了に伴い、宍戸豊彦氏(再任)の選任に同意しました。

条例

◆特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定
高齢者記念品贈呈の遅延における管理監督責任として、令和4年10月分の給与月額から、町長は10%、副町長は5%を減じるため、本条例を制定するものです。
【原案可決】

補正予算

◆一般会計(第5号)
◆介護保険特別会計(第2号)

◆簡易水道事業特別会計（第1号）
◆公共下水道事業特別会計（第1号）

補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。
【原案可決】

意見書を提出

第3回定例会において、次のおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣

第5回臨時会

10月18日

◆一般会計補正予算（第6号）
補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。
【原案可決】

令和4年度各会計補正予算（第3回定例会）	
一般会計（第5号） 3,100万5千円の増 （総額39億7,332万円） ■移住・定住対策事業、戸籍情報システム整備費補助金、更生医療費支給事業の増ほか	
介護保険特別会計（第2号） 1,974万6千円の増 （総額5億9,844万8千円） ■令和3年度決算確定に伴う繰越金の増ほか	
簡易水道事業特別会計（第1号） 31万2千円の増（総額1億7,367万3千円） ■水道事業関係費の増	
公共下水道事業特別会計（第1号） 37万8千円の増（総額5,627万7千円） ■下水道事業関係費の増	
令和4年度各会計補正予算（第5回臨時会）	
一般会計（第6号） 5,911万1千円の増 （総額40億3,243万1千円） ■地方創生臨時交付金事業（生活応援商品券給付事業）の増ほか	



傍聴をお待ちしています。

定例会 傍聴者のこえ

議会を傍聴された方に、一般質問や審議の感想やご意見をお聞かせいただくアンケートを実施しています。お寄せいただいた感想の一部を紹介します。

□いつ議会が開かれるか分からなかったので、働いている世代はなかなか傍聴したくても、スケジュールを調整するのが困難なのが残念です。

議員の方たちが比布町の将来、未来のことを真剣に考え、向きあっている姿勢に感謝と感動をおぼえました。ありがとうございます。

□傍聴者が各予算資料を一見で理解するのは難しく、具体的に何についての議論なのかかわかる補足資料があるとよいと思うのですが…。

□議員の発言の一部、特に答弁者の声が非常に傍聴席に聞こえづらいので考えてほしい。

□役場内に町議会の様子を流してはどうか。他の自治体では

舎内に音声や動画を流しており、職員の皆さんの仕事のモチベーションを高めることになると思います。

□町民に対しても動画配信を。仕事を持つている方は、そういう手立てがあると、町政を知ることができるようではないでしょうか。

□決算（予算）委員会は町民生活に具体的に反映するので、伝える手立てを幾重にも工夫してほしい。

今定例会は延べ5名の方に傍聴いただきました。アンケートでいただいた貴重なご意見を今後の議会運営の参考とするよう、議会内で協議を進めているところです。ありがとうございます。



運動と食による脳の活性化 「ピピカツ事業」の展望は

村中町長

運動の楽しさと食による健康づくりで 健康で豊かな人生を送ってほしい



大熊 勝幸 議員

□質問・大熊議員

町では運動と食で脳を活性化し、全ての世代が生きがいを持って生活することを目的とした「ピピカツ」事業を行っており、現在、広報紙や各団体への講演などを通じて周知をしているとのことですが、町民への浸透度は充分とは言えないと思います。

運動や栄養が脳に及ぼす影響は様々な研究によって証明されており、町全体で取り組むことは大変有意義なことで、このような取り組みは全ての自治体にとって主要政策になると考えます。そこで、次の2点について伺います。

①町の政策におけるピピカツ事業の位置づけについて。

一つの政策に対してプロジェクトチームをつくるという試みはこれまで例のないことですが、この事業の優先順位、重要度を伺います。

②より強力な推進体制づくりについて。

持続可能な取り組みとして確実に根付かせるためには、町民にも分かりやすい明確な姿を示すことが重要です。例えば、この事業が浸透するまでの間、集中的に取り組む部署をつくるなど、一貫性を持ったより強力な推進体制が必要だと考えますが、町長の考えをお聞かせください。

■答弁・村中町長

ピピカツ事業は、全世代が適度な運動習慣と適切な食生活により、生涯健康で豊かな人生を送ることを目指す長期的な事業です。総合的に事業を推進する必要があることから、昨年度プロジェクトチームを立ち上げ、地域おこし協力隊員がリーダーの「運動チーム」と、本町の管理栄養士を中心とした「食チーム」に分かれて事業を展開しているところです。

運動チームでは、幼児や児童生徒を対象とした運動教室、高齢者に対する講演を行っており、今後、保護者や比布中央学校PTAを対象とした講演会も予定しています。

食チームでは、学校給食の改善、「食」に関する健康講演会の開催に向け準備を進めているところです。

ピピカツ事業は優先順位、重要度ともに高い位置にあり、認知度を高めるためにSNSなどでも有効活用しながら、事業の普及・啓発に努めていきます。

□大熊議員 いろいろな分野においても、食と運動というのは一体的なものとして扱われていると思いますので、ぜひとも担当部局の設置をお願いしたいと思います。

また、現在は地域おこし協力隊を中心に進められていますが、任期や人事異動で担当者が変わるの

ではなく、専門的な職員の配置が必要になると考えます。

■村中町長 スタートしたばかりの事業ですので、まずはこの体制でいきたいと思っています。現在は協力隊員にお願いしていますが、任期もあり、継続していきけるかどうかは今後検証し、考えていく必要があると思っています。

□大熊議員 この事業をきっかけに、町民の皆さんが生涯健康で豊かな人生を送り、そして、幼少期からの運動によって、この町からスポーツ選手や著名人が出るといったような事業になればと思います。体制づくり、人材確保を含めて比布町が先進地となるように事業を進めてほしいと思います。

■村中町長 この事業を通じ、子どもたちが運動に親しむことによつて夢や可能性が広がることも考えられますし、運動は苦手ではない、嫌いではないと感じるようになることも大事かと思っています。

現在の協力隊員は日本代表チームのトレーナーになるほど世界で活躍されている方です。こういった方が本町の協力隊になっていただいているということは幸運であり素晴らしいことです。ぜひ本町に根付いていけるような仕組みづくりもしながら、この事業を進めていきたいと思っています。



産業を活性化するために どの程度行政が主導すべきか

村中町長

様々な声を拾い上げるとともに、 事業者に対し積極的に支援していきたい



植西 浩一 議員

成 功事例を活用した産業活性化 について

□質問・植西議員

成功事例を取り入れて産業を活性化するためのアイデアを出し続けなくては、地域経済は停滞してしまいます。未来へのまちづくりには行政がどの程度主導するべきだと考えていますか。

■答弁・村中町長

事業者が行う事業の拡大や新たな分野への事業展開に対して、多くの支援を実施しており、基本的には事業者自らが行う事業に対して積極的に支援をしていくことが、産業の活性化につながるものと考えています。

昨年より、様々な分野の若い世代の皆様と「ぴっぷ未来会議」と称した意見交換会を開催しており、今年度も開催する予定です。その中で農協青年部や商工会青年部などが理想と考える本町の魅力ある未来の実現のために、どのような政策や取り組みが必要なのかを議論し、実現に向けて努力を続けていきたいと考えています。

□植西議員

まちづくりの経済や産業振興、商業振興を考えるのは本来住民の側です。公式な会議で買い物場を増やしたいというような要望は出なかったのでしょうか。または、そのようなアイデア

を提案できる環境がなかったのでしょうか。

■村中町長 正式な会議の中で

もっと買い物環境を整えてほしいということとは、私の記憶の中では伺ったことがございません。しかし、住民の方々の小さな意見でも拾い上げることが必要だと思えます。その中で、小さい意見だから、大きい意見だからということではなく、様々な方々と意見交換をしながら、その時代に合った取り組みを進めていきたいと思えます。

冬 の行政区単位の環境整備活動 について

□植西議員

冬の環境整備の目的は行政区、そして、班ごとに違う除排雪ニーズをそれぞれの単位で解決してもらうことです。

比布町が持続可能な自治体になるには自助活動を充実させ、そこから見い出される新たな課題を解決することが必要と感じています。町長のご意見を伺います。

■村中町長

町が実施している門口除雪サービスや除雪サービスを地域の方々が担っていただけるような仕組みづくりについては、検討する価値があると思います。

地域住民による豊かなまちづくりを進めるための「共助」への第一歩としても重要なことであると

考えます。「自助」の意識から、地域の課題をみんなで見つめ、解決できる地域となることは、町内会や自治会として理想的な姿であると思えます。

□植西議員

課題が見えてくれば、それに対して費用を補って、助成を行うのは大事だと思います。

実現可能な状態にするにはどうしたらいいのか、または今、そのようなことができない地域、町内会があるならば、どういう状態にあるのかという分析もできると思います。

■村中町長

農家地域では環境保全活動も共同で行っており、その中でも様々な課題があると思えます。そういった地域課題を一つ残らずくみ取れるように町議会からも働きかけていただき、行政に様々な意見をいただきたいと思います。

自治 = 話し合い = 助け合い





行政デジタル化により個人情報 はどこまで守られるのか

村中町長

**国の指針に基づき、
より良い仕組みとなるよう進めていく**



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

国は自治体の個人情報保護条例に基づく運用が「官民や官同士での円滑なデータ流通の妨げにならない」とし「ルール」を定め、個人情報の取り扱いを国の個人情報保護委員会に一元化するとし、自治体に個人情報保護条例の見直しを求めています。

総務省「2020年情報通信白書」調べでは、プライバシーが守られなければデジタル化はすすまないとの調査結果が出ています。個人データを提供することについて8割が「不安を感じる」とし、その感じる不安は「個人情報や利用履歴の漏えい」だと多くの方が答えています。

自治体の個人情報を守る「個人情報保護条例」があり、住民から信頼されているからこそ、安心して自分の大切な個人情報を委ねることができず。

個人情報を守る防波堤として行政が担い続けてほしいとの思いから、町長に行政デジタル化をどのような視点・観点から進めていくのか伺います。

■答弁・村中町長

平成28年に官民データ活用推進基本法が成立以降、国が中心となり情報通信技術を活用した行政が推進され、デジタル庁が設置され

るなど、行政のデジタル化が加速度的に進んでいるところです。

自治体DX推進計画の重点取組事項の「行政手続きのオンライン化」については、令和5年4月からマイナンバーカードを使用し、子育てや介護に関する26項目でオンライン申請ができるよう整備を進めています。

これまでどおりの役場窓口での申請に加え、オンライン申請窓口が1つ増えるものだと考えています。対面でのサービスが必要とされている間は、役場窓口も残していく考えです。

□遠藤議員 共通ルールに合わせるように強制されるのではないかと危惧をしています。

例えば、子どもの医療費の無料化など町独自の政策をしています。そのようなことが一律規制されていくのではないかと心配をしています。十分に議論を尽くすと言いますが、例えば不足の部分に対してというところの条例なども作れるのかどうか。匿名情報が加工されるということもありますので、個人情報が守られると考えていますか。

■村中町長 国の指針に基づいて最善の対策をしているところです。国の法律の範囲内で、町独自で守らなければいけないということが

あれば、運用する中でも検討していければと思っています。

□遠藤議員 このアナログからデジタルへ移行していく過渡期の今、不十分なところは直し、実際やってみているところからの問題点を洗い出して進めていくことが大事ではないかと思えます。

パブリックコメントをぜひ実施し、さらに議会とも議論し、良いものを作っていたきたいと思えます。

■村中町長 パブリックコメントについても町長の手紙、まちづくり懇談会など様々な場面でご意見を伺いたいと思えます。

特に個人情報等の関係については専門的で難しいこともあり、意見を求める前段に相当な情報提供も必要になると思えますが、偏っていたり、誤っていたりするような情報発信もしないよう気をつけながら進めていきたいと思えます。





放課後児童クラブの今後は

村中町長

令和5年度、比布中央学校内に整備し、 環境や内容を充実させていきたい



安藤 裕子 議員

□質問・安藤議員

放課後児童クラブ（以下「児童クラブ」）の現状と今後の方針について、町長に伺います。

厚生労働省の基準によると、児童クラブの施設面積は専用スペースとして1人当たり1・65㎡（畳一畳分）以上の面積を確保することが望ましく、集団の規模は概ね40人程度で最大70人、40人以上は2学童を設けることと示されていますが、本町の児童クラブは全学年で64人、夏休み中のみ利用の3人を加えると計67人の登録があります。平常時は47人程度の利用があります。これでは安全で安心して生活できるレベルを超えているのではないのでしょうか。

共働き家庭や、ひとり親家庭の増に伴い、利用する児童は増加傾向にあります。児童クラブは放課後、宿題をしたり、おやつを食べたりと心身ともに静かに過ごせる場所であるべきと思います。

コロナ禍の中、パーソナルスペースの確保ができていない現状、また、支援の必要な児童への対応や体調が悪くなった児童の静養室の確保が十分ではないと思います。

子育てしやすい町として移住定住政策を進めるなら、しっかりと児童クラブへの財源を確保し、整備すべきではないでしょうか。

■答弁・村中町長

児童クラブは健全な育成を図ることを目的とした施設で、その運営は「比布町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」に基づいて行っています。

基準では、1学童40人以下で2名以上の指導員を配置するように定められていますが、施設には1部屋しかないことから、指導員を4名以上配置し、現施設のほかに青少年会館体育館やいちごアリーナも使用しながら安心して過ごせることができる環境づくりに努めています。

待機児童を出さないようにしたことで現在の利用者登録数となっていますが、令和5年度に計画している比布中央学校職員室の増改修に伴い、児童クラブを校舎内に設置し、65人程度の児童を受入れ可能な1部屋1学童とし、併せて静養室の整備も進めていく考えです。また、学習や運動、体験など充実した時間を過ごすことができます。



児童クラブ・みんなで笑顔

るよう運営体制の改善や利用規約の見直し等も行い、安心・安全で居心地の良い場所となるよう努めます。

□安藤議員 児童をしっかりと見守り、対応していくことを考えると、指導員の人数が多ければ良いという問題ではなく、方向性の問題だと思えます。令和5年度以降の児童クラブ再スタートまで現状で据え置くのではなく、支援の必要な児童には専門の知識を持ったスタッフの雇用も考慮すべきではないでしょうか。また、児童クラブの計画的な見通しが甘くないでしょうか。NPO法人や専門家の雇用も念頭に置き、30年後、50年後も子どもたちが健やかに育つような場所を作るといった観点で再考していただければと思います。

■村中町長 社会状況の変化に対し行政の見通しが立たず、スピード感がないというところは反省し、認識しているところです。昭和48年に青少年会館ができ、50年経った現施設をこれから改修することは非効率だと思えますので、学校の改修と併せて施設整備を進めたいと思っています。近隣の児童クラブも参考にしながら、少し時間がかかりますが、新たな児童クラブの体制にしていきたいと思えますので、ご理解をお願いします。

令和3年度各会計決算を認定

令和3年度各会計決算は、議長及び議選監査・澁谷興二議員を除く議員6人で構成する決算特別委員会（委員長 今井明信副議長）を設置し、9月5日と6日の2日間にわたり、審議を行いました。

定例会最終日の9月7日に、今井委員長から「委員会として令和3年度会計決算を認定すべきもの」との審査結果報告がありました。

区分	歳入合計	歳出合計	差引
一般会計	4,295,534,262 円	3,998,326,761 円 翌年度繰越額 6,434,000 円	290,773,501 円
国民健康保険特別会計	508,552,697 円	483,899,831 円	24,652,866 円
後期高齢者医療特別会計	68,818,810 円	68,807,649 円	11,161 円
介護保険特別会計	608,949,774 円	591,634,914 円	17,314,860 円
観光事業特別会計	147,004,085 円	129,426,170 円	17,577,915 円
簡易水道事業特別会計	229,641,816 円	223,856,646 円	5,785,170 円
公共下水道事業特別会計	66,788,909 円	62,752,528 円 翌年度繰越額 89,000 円	3,947,381 円
合計	5,925,290,353 円	5,558,704,499 円 翌年度繰越額 6,523,000 円	360,062,854 円

▼一般会計【歳入】

【谷口委員】比布町庁舎整備事業について、改築の用途、目標をもったほうが進めやすいと思うが考えは。

【町長】今年度中に完成までを目指した一定の計画を示し、来年度以降に町民の方々も含めた検討委員会を立ち上げ、町民の皆様にとって利用しやすく便利な庁舎改築を計画していきたいと思えます。

【植西委員】ふるさと納税は歳入の中でも伸ばせる可能性がまだまだある。返礼品開発に力を入れ、現在の4千万円から倍に引き上げるよう努力してほしい。町民から返礼品のアイデアを募集することなども検討してはどうか。

【町長】ふるさと納税は貴重な財源であり、他の手段で4千万円を集めることは難しいと思えます。私としては積極的に推進しているつもりですが、皆さんからアイデア等もいただきながら、引き続き進めていきます。

【総務企画課長】返礼品については、旧北・南比布駅の乗降場の材料を活用したグッズや農協で販売を始めた日本酒等を追加しました。また、企業版ふるさと納税も増えています。

▼一般会計【歳出】

総務費

【大熊委員】道北バスは本町の公共交通機関としてなくてはならないが、今後、支援額が増加しても支援を継続していく考えか。また、他町で支援を打ち切るといった情報はあるか。

【総務企画課長】令和3年度は1640万円を支援しています。本町にとって重要な交通機関であり他町と関係する路線もあるため、引き続き支援が必要と考えています。支援の打ち切り等の情報は今のところありません。

【遠藤委員】庁舎改築のロードマップを示すとのことだが、それまでの間、現庁舎の維持補修もしっかり行い、書庫の建設などを考えてはどうか。

【総務企画課長】雨漏りなどについては応急処置で対応しているのが現状です。新庁舎建設の際には重要書類を確実に保管する環境を検討します。

【安藤委員】移住定住対策について、比布町が移住先、定住先選ばるために、希望者のニーズに合った物件等の紹介にもっと力を入れるべきではないか。

【総務企画課長】 現在、空き地空き家流動化や子育て支援、不動産仲介などに支援しており、今後も継続していききたいと考えています。

【まちづくり推進室長】 以前の調査では、町内の空き家は100戸近くあることがわかりましたが、所有者不明の物件が多く、苦勞しています。現在は町税納付書発付時に支援情報をお知らせするようにしています。

【町長】 空き地空き家は全国的な社会問題ですが、空き家へのニーズは高く、本町においてもすぐに売れてしまう状況です。住宅には所有者の思い入れがありますので、そのお気持ちも考慮しながら政策を進めていきます。

【植西委員】 ふるさと納税返礼品の経費の考え方について、返礼品自体は町内の産業活性化の一助として考えるべきだと思うが。また、この地域にしかない返礼品をどの



旧北比布駅ホーム部材を使った返礼品

ように開発していくのか。

【町長】 返礼品の購入費はすべて町内の事業者に戻るものなので、経費としては考えておらず、むしろ積極的に進めていきたいと思っています。返礼品の主流はお米と考

【遠藤委員】 長期間、空き家になっている物件について、優良物件の所有者が町内に在住している場合は、直接交渉するなどの方法を検討しては。

【総務企画課長】 問い合わせのある所有者等へは積極的に支援していますが、それ以外の場合は交渉等は行っていないのが現状です。

【大熊委員】 応援大使事業について、今後の取り組みの見通しは。

【総務企画課長】 コロナ禍のため現在は大使4人に特産品を贈るなど、



応援大使のピップ株式会社代表取締役社長 松浦由治氏

関係の維持に努めており、今後、機会があれば本町での活動をお願いしたいと思っています。

民生費

【谷口委員】 びびたく事業について、地域公共交通の一環として検討するということであったが進捗は。

【保健福祉課長】 地域公共交通としては今後も検討を続けていきますが、計画ではワゴン車を一台追加し、不足する場合に対応できるよう検討しています。

【安藤委員】 大悲会の運営について町民から不安の声が聞かれるが、早期の改善、10年先、20年先の安定した運営に向けた町の関わりは。

【保健福祉課長】 3年度、4年度と支援を行い、少しずつ改善されていると認識しています。大悲会からは5か年の計画書が提出されており、それに基づいた対策を実施



くるみ保育園 歯科検診

いただき、町としても改善に必要な協力をしていきます。

【町長】 民間法人ですが、大悲会には極めて公共性の高い事業を行っていたので、持続可能な経営について一緒に検討していきます。

【植西委員】 あそか苑の職場環境について、休暇や介護ロボットの購入など人材確保の観点からも職員の声を聴き、改善への支援をしては。

【保健福祉課長】 働きやすい職場環境となるよう、できる範囲で協力する考えでいます。

【遠藤委員】 冬期間の低所得者対策について、燃料代は特に高騰しており、支援額の増額を検討してほしい。

【保健福祉課長】 基本的には現状の1万円を考えていますが、さらに高騰する可能性もあるため、状況



緑町グリーンサロン 認知症に備えての出前講座



4年生がごみ分別ポスターを作成

を見ながら対応を検討したいと思
います。

【植西委員】新たな緊急通報システ
ムの導入について、全町的に光回
線が整備されたことから、インター
ネットを活用した仕組みのほうが
利便性が向上し、コストも削減で
きるのではないかと。

【保健福祉課長】特に見守り支援が
今のシステムではカバーできてい
ませんが、現在研究している中で
は利用料としてご負担いただく必
要も考えられるため、引き続き検
討します。

衛生費

【遠藤委員】プラスチックゴミの分
別について、愛別町外3町塵芥処
理組合の構成4町(愛別町・当麻町・
上川町・比布町)で協議を開始す
ると聞いている。施設としての課
題もあるようだが、組合への負担



良佳村フェスティバル

金削減のためにも分別を実施して
ほしい。

【税務住民課長】現在、検討段階で
すが多くのハードルがありますの
で、引き続き構成4町で検討しま
す。

農林業費

【植西委員】遊湯びつぷの修繕料等
に多額の費用をかけているが、費
用に対する効果測定はしているの
か。効果のないものに予算を使う
べきではないのではないかと。

【産業振興課長】空調や温泉システ
ム更新など、施設維持のために必
要な修繕を行っていますのでご理
解ください。

【町長】修繕しないということとは、
営業しないということになります。
年間、多くの来館者があり、町内
のお店にも効果はあると思ってい
ます。根拠のある効果測定につい
ては検討します。



オクラの花と生育の様子

【谷口委員】青果物振興事業につい
て、オクラの生産が増加傾向で道
内の7割の生産量と報道があった
が、農協と連携してもっとPRす
れば生産者の増加にもつながると
思うが。

【産業振興課長】PRについては農
協と連携して進めていきます。現
在、農協で共選施設の建設を検討
しており、整備にあたっては支援
していきたいと考えています。

商工費

【谷口委員・植西委員】地域ふれあ
い館はコロナ禍で閉館となってい
るが、今後の開館見通しや民間事
業者が運用するなどの考えはある
か。

【産業振興課長】ライダーハウスと
して開館してきましたが、今後は
別の形で有効活用も考えていけ
らと思っています。

【町長】今までのスタイルでの活用



町内の排雪作業

は難しいと思っており、皆様から
意見等もいただきながら有効活用
を検討していきたいと思えます。

土木費

【大熊委員・植西委員】除雪作業員
について、人員の確保や技術継承
のため、賃金面や作業免許取得に
対する補助、作業訓練などどの
ようになっているか。

【建設課長】賃金については経験年
数によって定期昇給を行っており、
今年度、職員1名に公費で大型特
殊と作業免許を取得させています。
運転技術については、ベテラン運
転手が同乗して指導をしています。
技術向上には時間を要することを
ご理解ください。

消防費

【谷口委員】 消防団員について、団員数が減ってきているが、団員と署員の情報交換を密にして増やすことはできないか。

【消防署長】 現在、定員66名のところ46名となっています。ぜひ連携して団員確保につながればと思います。

教育費

【安藤委員】 フッ化物洗口についてはコロナ禍のため2年以上休止となっているが、コロナ禍前と現在の虫歯の状況などを検証して差があるようなら、それを根拠として推進できるのではないか。

【生涯学習課長】 歯科検診は行っているのですが、養護教諭などに相談して検討します。



比布消防団夏季演習

▼公共下水道事業特別会計

【谷口委員】 日野自動車製のクレーン付きトラックを購入したが、排ガスデータ改ざんの対象車にはなっていないか。

【建設課長】 リコール対象でメーカーから文書が届いており、連絡がきましたら修理に出す予定です。

▼財産に関する調査

【安藤委員】 旧蘭留小学校が利活用されていないが、無償貸与などの貸し方の方針やリノベーションして貸すという考えは。

【総務企画課長】 3年度は3件ほどの問合せがありました。貸与には至っていません。貸し方としては建物の一部、全部等いろいろな選択肢に応じたいと考えています。【町長】 これまでは現状のまま有償でという考え方でしたので、無償



旧蘭留小学校体育館

貸与についても検討し、リノベーションについては、今後、町がどこまでお金を出していいのか皆様と協議していければと思います。

▼総括質疑

【植西委員】 まちづくりに携わる際の心構えについて、どう考えるか。

【町長】 それぞれの立場の方が幸せに生きていけることを考えるのが行政や議会の役割であると思っています。

また、職員は比布町が好きであること、町民が好きであり、交流から課題を見つけていく姿勢を持つことが大事だと思っています。

町民の皆様も町内での様々な活動が町の元気につながり、これからはいい町にしたいという思いを持って今後も活動いただければ、これからの未来も明るいと考えます。



絵本にくぎづけブックスタート

【遠藤委員】

コロナ禍で様々な行事が中止となり、それによって予算を多く残した決算となったが、行政も我慢して住民も我慢した年だったと思う。これからはかにコロナ禍前に戻していくか、さらに町民の文化芸能活動を維持していくか、文化芸能鑑賞などの機会を増やして町民を元気にしていくかといったことに力を注いでほしいと思うが考えは。

【町長】 行事、イベント等については、できるだけ開催したいというスタンスで進めていきたいと思っています。文化、スポーツ活動は人の心を癒すとともにコミュニケーションの場にもなりますので、いただいたご意見も参考にしながら、町民の皆様が心豊かで幸せになれるよう努力していきます。



町民芸術鑑賞会

委員会の activities

活動

Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

総務常任委員会 8月25・26日開催

【税務住民課】 《報告事項》

- 令和4年度町税等の課税状況（当初）・7月末の収納状況
 - 上川広域滞納整理機構の収納状況
引継件数7件、約230万円。
うち完納1件、年度途中で追加を準備。
 - 戸籍及び住民登録人口等の推移
 - 所管施設の利用状況等
- #### 《協議事項》
- 第3回議会定例会提出議案
◇令和4年度一般会計補正予算案
- #### 《その他》
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
 - 廃プラスチック循環型社会形成の進捗状況

【保健福祉課】 《協議事項》

- 第3回議会定例会提出議案
◇令和3年度一般会計・介護保険特別会計補正予算案
コロナ自宅療養者への支援助物資（一人当たり1万円）を150人に支援助。物資の内容は本人の要望など。
- #### 《その他》
- 令和3年度町立診療所指定管理業務に係る実績報告
管理運営に関する報告（患者数・決算状況等）がありました。
 - 社会福祉法人大悲会運営補助に係る令和3年度決算状況

Q経営改善（空床率の改善やサービス向上）が必要ではないか。

A経営改善が図られるよう、介護サービスの質の向上に対しても支援していきます。

- うれし保育園の移転
旧比布中学校ビレッジ・バイ・ヴォレアス内に令和5年1月移転を目標とし、定員は12名のままで、施設としては19名まで対応可能。総事業費約2900万円、国と町からの補助と事業者負担の提示がありました。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種状況

【生涯学習課】 《報告事項》

- 学校教育事業
◇高校入試情報講演会
7月6日・講師 練成会グループ
今村塾長・保護者13名参加
- ◇町立学校校舎改修工事実施設計概要
職員室増築・改修、空調、太陽光発電、放課後児童クラブ

Q令和5年7月末に設置を予定している冷房設備の詳細は。

A効率よく冷房の効果が生かされるよう設置場所を検討します。

- ◇令和4年度全国学力・学習状況調査結果
- ◇学力向上対策事業「チャレンジゼミ」
- ◇キャリア教育事業「あしてらびっぴ2022夏」
7月27～29日、比布中央学校5～9年生30名参加



あしてらびっぴ ARスポーツ「HADO」を楽しむ子どもたち

■社会教育事業

- ◇学習サポート×ぶつくん寺子屋
7月25～26日、延べ109名参加
- ◇公民館事業「夏の自由研究」
7月29日、3～6年生13名参加
- ◇子ども体験教室「比布アドベンチャーズ」
8月5日、17名参加



比布アドベンチャーズ 火起こしを体験

- ◇比布町青少年健全育成月間の取り組み
- ◇郷土資料館開放デー
8月11～12日、28名来館
- ◇図書館蔵書点検
- ◇令和4年度比布町文化賞及び文化奨励賞
- スポーツ振興事業
◇第13回全町親睦ミニバレー大会
6月19日、16チーム参加
優勝 寿B／準優勝 緑町ナイス
- ／3位 緑町グット・北町1
- ◇子ども水泳教室
7月4日・11日、延べ128名参加

◇プール運動会

7月25日、47名参加

◇第55回全町ソフトボール大会

8月28日、A級6チーム、B級5チーム参加

◇第3回比布町ヒルクライムレース大会

10月2日開催予定

■所管施設工事等発注状況

町立学校校舎改修工事実施設計委託業務

■その他

Q家で見る人がいない児童を放課後児童クラブが受け入れているが、人数が多くなっているのではないかと、指導員が大変な状況である。A来年度から精査していきたい

【総務企画課】

《報告事項》

■第3回議会定例会提出議案

■令和4年度普通交付税の決定

■令和4年度人事院勧告

■JR蘭留駅構内乗降場土留修繕

■委託型地域おこし協力隊員の募集

竹細工の技法を受け継ぐ隊員への応募がなかったため、再募集している。また、就農を目指す隊員に3名の応募があり、さらに令和5年度に向けて若干名を募集中。

■その他

◇令和5年度職員採用試験

◇道北バス株式会社への支援

◇ピピカツ事業

◇旭川ガス株式会社との包括連携協定

◇複業クラウドによるSNSアドバイザー

◇たいせつなまちコラボ事業

◇同郷会役員との懇談会

6月13日・旭川会、7月14日・札幌会、8月9日・東京会

《協議事項》

■第3回議会定例会提出議案

◇地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

◇令和3年度比布町歳入歳出決算認定

◇令和4年度各会計補正予算案

■その他

◇職員の定年等に関する条例の改正

◇比布町個人情報保護法施行条例の制定



町内在住の竹細工職人 近藤幸男 氏

総務常任委員会

10月18日開催

【税務住民課】

■第5回議会臨時会提出議案

産業建設常任委員会

8月29日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■農作物の作付状況

■経営所得安定対策

■令和3年度いちご冬季栽培実証実績

■新規就農対策（地域おこし協力隊制度活用）

■クマ出没状況

■地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況

《協議事項》

■第3回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和4年度各施設の利用状況

◇グリーンパークびっぷ

利用人数10,499人（8月16

日現在）

◇良佳プラザ・遊湯びっぷ

入館者数31,042人（入浴・宿泊合計、7月末現在）

■各イベント等の実施状況

◇びっぷいちご狩り

期間6月13日～7月10日、8農園、12,370人来園

◇第30回記念びっぷ七夕天国

8月6日（前夜祭）・7日開催



にぎわいを見せたびっぷ七夕天国

■地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況

◇商工業振興事業

◇「支え合おう！ びっぷの元気づくり商品券」給付事業

商品券利用率40・5%、食事券

利用率20・4%（8月12日現在）

◇「新びっぷスタイル」イベント事業

◇びっぷいちごキャンペーン情報

発信事業

産建

水稻苗床ハウスを活用した オクラ土壌隔離栽培試験を視察

7月21日に開催された「青果振興会役員並びに青果生産指導関係機関研修会」に産業建設常任委員らが出席しました。

8区・那須宏幸さんの水稻苗床ハウスでは育苗以外の活用としてオクラ土壌隔離栽培試験が行われており、ハウスのさらなる活用方法と所得向上に向けた取り組みを学びました。

写真上／ハウス内の様子
写真下／露地栽培ではなく栽培用の袋で育てます



【農業委員会】
《報告事項》
■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

《協議事項》
■第3回議会定例会提出議案
◇令和4年度一般会計補正予算案
■良佳プラザ・遊湯びっぶ次期指定管理者の選定について

【建設課】
《報告事項》
■建設工事の発注及び進捗状況
■道路環境整備事業等の実施状況

《協議事項》
■第3回議会定例会提出議案
◇令和3年度一般会計・簡易水道事業・公共下水道事業特別会計補正予算案



稲刈り風景

全員協議会

▼10月11日開催

【総務企画課ほか】

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業について

▼10月18日開催

【総務企画課】

■第5回議会臨時会提出議案

7月6日開催 議員研修会報告

令和4年度北海道町村議員研修会が7月6日、札幌コンベンションセンターで開催されました。

講師は政治ジャーナリストの泉 宏氏で、「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」について講演されました。泉氏は24人の歴代総理大臣を直接取材された最前線の政治記者で、テレビやマスコミで公表されない多くの話を聞くことができました。(谷口 雅浩)



ようこそ比布町へ！ 行政視察が来町

8月23日、空知管内北竜町議会総務産業常任委員会（北島勝美委員長）と教育委員ら19人が行政視察のため本町を訪れました。

また、10月4日には、後志管内の留寿都村議会（松井幸雄議長）議員など10人が来町しました。

両議会とも本町義務教育学校移行の経過や現況について教育委員会職員から説明を受けた後、学校校舎内外を視察しました。



8/23 北竜町議会視察



10/4 留寿都村議会視察

速報

住民と議員 意見交換会を開催します



本議会では初めての試みとなる

住民のみなさんとの意見交換会「議会と話そう」を開催します。

将来の比布町を考える場にしたいと考えています。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

議会って何をしているの？

議会の
役割とは？

議会の仕組み

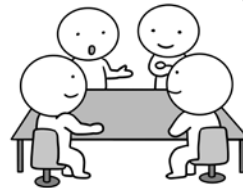
議会と行政の
関係

議員の
仕事とは

仕事との
両立は？

議員って
どんな人？

議会と 話そう



第1回

令和5年 1月19日(木) 午後1時30分
東園地域センター

▼町内2か所で開催します。町内全域の皆さんを対象に開催しますので、都合のよい会場へお越しください。(定員30名・送迎にも対応します)
▼時間はともに1時間半程度を予定しています。

第2回

令和5年 1月25日(水) 午後6時30分
福社会館 第3研修室

さまざまな疑問にお答えします。私たちとお話ししましょう！



大熊 勝幸



植西 浩一



遠藤ハル子



佐藤 康則



今井 明信



澁谷 興二



安藤 裕子



谷口 雅浩

申し込み・問い合わせ

比布町議会事務局

TEL 85-4808

議会のうごき

8月

- 19日 家畜慰霊祭
(中央ふれあい広場、議長・産建委員長)
上川中央部市・町議会議長定例会議
(東神楽町、議長)
- 23日 北竜町議会総務産業常任委員会他先進地政
務調査来町 (福祉会館、議長)
- 25日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 26日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 29日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)

9月

- 1日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
上川地方総合開発期成会セミナー及び要望
懇談会 (旭川市、議長)
- 3日 藤栄会との懇談会 (町内、議長)
- 5日 第3回議会定例会 ～7日 (役場、全議員)
決算特別委員会 ～6日 (役場、全委員)
- 7日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
議会広報特別委員会 (役場、委員)

- 24日 宗谷本線活性化推進協議会講演会
(名寄市、議長)

10月

- 4日 留寿都村議会行政視察来町
(比布中央学校ほか、議長)
- 11日 全員協議会 (役場、委員・議長)
議会広報特別委員会 (役場、委員)
議会改革特別委員会 (役場、正副委員長)
- 12日 道北地方森林・林業・林産業活性化推進議員
連盟連絡会総会 (旭川市、産建委員長)
- 18日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
全員協議会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第5回議会臨時会 (役場、全議員)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 19日 上川管内議会議長研修会 ～20日
(中富良野町、議長)
- 24日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
- 26日 上川管内町村議会議員研修会
(旭川市、各議員)

編集後記



今年の水稻は例年以上に品質も高く、素晴らしい出来秋です。米価の下落など生産者にとって大変厳しい状況が続いておりますが、ツヤツヤで光り輝く新米や農産物に舌鼓を打ちました。

そして、各地でイベントが再開される中、本町においてもコロナ禍により中止となっていた「びっぶ七夕天国」が3年ぶりに開催され、30回目の節目を迎えました。

色鮮やかな夏空を彩った前夜祭の花火大会。感染対策をとり、行政区對抗の競技を行わない等、一部縮小しての開催でしたが、比布中央学校吹奏楽部、陸上自衛隊第2音楽隊の演奏や大道芸など久しぶりのお祭りであり、十字街がにぎわいました。

当たり前だったお祭りや各行事がなくなり、コロナ禍の今を生きる子どもたちにとっては、やるせない気持ちでいっぱいだったことでしょう。再拡大もあった今夏でしたが、願ってもないお祭りの開催となりました。

子どもたちのあふれる笑顔が町を元気づけてくれます。笑顔のたえない活気ある町になるよう頑張ります。

(大熊 勝幸)



8月7日、びっぶ七夕天国で子どもたちの笑顔